Rotary International District 2570

GOVERNOR's MONTHLY LETTER

Peace Through Service
Sakuji Tanaka
Rotary International President 2012-13

世界の中で役立つことをしよう

国際奉仕部門
クラブ支援委員長
岡本　正巳

国際奉仕部門
委員長
新島　修一

国際奉仕部門
地区事業副委員長
細川　末廣

1st February, 2013 Vol.8

世界理解月間

国際ロータリー第2570地区　2012～2013年度
ガバナー月信 2013年2月1日 **第8号**

RID 2570 SAITAMA / JAPAN
いいね ふくよ

■ガバナーメッセージ

鈴木　秀憲

「大きな社会奉仕」地域活性化と郷土愛

公式訪問の折に、「社会奉仕は一言で表すと、広い意味での地域活性化」であると申し上げました。又、「地域の活性化と言うと即、祭りであるとか、昨今ではＢ級グルメとかを思い出します。これ等も確かに地域活性化の一つではありますが、各クラブは、地域福祉に手を差し伸べているとか地域の児童教育やスポーツ振興に尽力しているとか色々と行っております。これ等の活動によって地域は活性化している事も事実で、このような事を含めて、社会奉仕は広い意味での地域活性化である」と申し上げました。

……地域の活性化……

今日は、直接的な地域の活性化について考えてみたいと思います。

一般的に地域が活性化するという事はどんな状態でしょうか？　人々が活き活きと賑わい、結果として経済活動が盛んな様子が考えられます。つまり、活性化するためには人口が増えなければならないと考えます。

しかし、地方の現状は一部を除いて、徐々に人口は減少し、次第に活力が失われています。特に若い人たちは、都会もしくはその近隣へと移って行きます。

この現状に対して、若い人たちが離れていかないように、或いは他所から移り住んで頂けるように、住宅施策や教育施策を展開し人口の減少を食い止めようとしています。しかし定住人口はなかなか増えません。定住人口が増えないのなら、せめて昼間人口だけでも増やしたいと考え、各自治体は企業誘致や大学誘致・大病院誘致等にも注力していますが、なかなか思うようには進みません。

であるなら、次に考える事は、定期的では無いにしても、一時的な昼間人口即ち観光人口を増やしたいと言う事になります。そのような観点から、活性化＝観光という事になり、その一部がＢ級グルメであるわけです。

ガバナー月信各号の裏表紙には各地を代表する文化財や歴史風土・自然の風景地・良好な景観等を掲載しております。

月信第２号　平林寺

月信第３号　高麗神社

……観光立国……

この点から観光についてじっくり考えてみましょう。

我々が育ってきた戦後経済は、原材料を仕入れて加工し輸出するという「加工立国、貿易立国」で発展してきました。しかし、人件費の高騰と少子高齢化によりこの構図は崩れ去り、かなり前から「科学技術創造立国や新貿易立国」が注目されてきました。

一方で「人口減少・少子高齢化が進むわが国において、観光は地域に於ける消費の増加や新たな雇用の創出等幅広い経済効果や地域に愛着心を持つ事が出来る活力に満ちた地域社会の実現をもたらす」として平成20年10月に国土交通省の外局として観光庁が発足しました（詳しくは「観光立国推進基本計画」の概要をご覧下さい）。

ここで注目に値する事は、この中に述べられている観光資源に当てはまる多くの要素が我が埼玉県に存在しているという事です。観光資源に掲げてある５項目について、改めて考えてみましょう。

……観光資源……

1. 文化財

我が国の歴史、文化等の正しい理解のために欠く事の出来ないものであると共に、将来の文化の向上発展の基礎をなすもの。国宝や史跡・伝統的建造物群等の有形文化財と祭り等の無形文化財がある。

2. 歴史的風土

歴史的事実を大切にし、街並みや歴史街道等を保存・復元・活用し、地域の魅力向上を図る。

3. 優れた自然の風景地

埼玉県には海は無いものの、優れた森林・河川・山地等豊かで貴重な自然環境が多くあり、重要な観光資源となる。

この中には、周辺景観や地域の個性を生かした快適な散策路の整備や、サイクリング・ロードの構築なども含まれる。

河川については水辺に近づきやすく河岸を整備すると共に身近な水辺における環境学習自然体験活動を推進する。

4. 良好な景観

景観重要建造物及び景観重要樹木の保全活用を中心とした取り組みを推進し、重要文化的景観の選定や物件の修理・保存・活用を行う。

都市に残された貴重な緑地の保全及び緑化を推進し、花と緑豊かな魅力ある都市づくりをする。

月信第７号　聖天山歓喜院

月信第５号　忍城

5. 温泉その他文化、産業に関する観光資源

我が国のみならず、温泉は古来から国民憩いの場である。但し、資源枯渇の恐れがあるので、今ある資源を大切にし、乱開発は避ける。

文化観光は歴史、伝統と言った文化的要素を大切にし、文化財や歴史的風土に関する観光資源を活用した観光交流への取り組みを推進する。同様に伝統芸能や伝統行事等も大切に文化観光を推進する。

産業観光については、特色ある地域の産業や工場・商店街等で歴史的・文化的価値のある物件から過去を学び将来の参考にする。

……観光資源を活かそう……

前述の通り観光資源は多岐に亘っており、我が埼玉県域には色々と当てはまるものが多くあると改めて感じた事でしょう。

上記観光資源の項目ごとに皆さんの身近な資源を考えましょう。

私は身近に前項１．文化財の「さきたま古墳群」があります。昭和13年、開発から守る為、地域の先輩が国へ訴え「国指定史跡」に指定されました。昭和43年に風土記の丘としての整備が始まり、昭和58年には金錯銘鉄剣が他の出土品と共に国宝に指定されました。

しかしそれから30年、景気の後退と共に、当初描いていた大規模開発は難しいものの、それでも平成16年知事の発言に触発され、民間から「さきたま古墳群を世界遺産へ」の声を挙げました。民間が熱心に声を挙げ活動を行えば、徐々にではあるが（さきたま古墳を管理している）埼玉県もその方向へ努力を始めています。

皆さまも改めて、皆さまの地域にある観光資源（文化財や歴史的風土、優れた自然の風景地、良好な景観、温泉その他文化・産業に関する観光資源）を再発掘してみませんか？

必ず、いくつかの観光資源が見つかるでしょう。私はこの事を再発見と言っています。

……郷土愛の醸成……

そしてその観光資源を改めて、皆様で大切に整備・保存し（私は、この事を観光資源を磨くと言っています）、世間へ売りだしたら如何でしょうか？　この観光資源を再発見し、磨き、そして世間へ売りだす過程で、自然に郷土に対する愛着心が出て来る事と考えます。

ロータリアンが先頭に立って、ロータリアン以外の地域の皆さま方と力を合わせ、地域の観光資源を再発見し、磨いて、世間へ売りだしたら、単なる地域の活性化（観光客が増える）だけでなく、郷土愛の醸成と言う大きな副産物を得る事が出来、ロータリーが行う大きな「社会奉仕」となる事でしょう。

■世界遺産推進 DVD 紹介&ガバナー知事訪問

「めざせ世界遺産！」DVD完成

社会奉仕部門地区事業委員長　**新井　啓介**（行田さくら）

「めざせ世界遺産！」活動を推進するためのツールとしてのさきたま古墳群の紹介DVDの製作が最終段階になった時、上田清埼玉県知事に、応援メッセージを頂くべく、鈴木ガバナー、小川行田商工会議所会頭、鈴木埼玉県議会前議長、他数人で、７月４日に知事公舎を訪問致しました。上田知事は、さきたま古墳の歴史的価値について見識が非常に深く、いろいろお話頂きました。特に、倭の五王の時代のさきたま古墳群との繋がりが、金錯銘鉄剣（国宝）の発見より証明されたことは、歴史的に大変貴重な意義あることである等々熱心にご教授頂きました。また、日本一、いや世界でもめずらしい円墳「丸墓山」は、大いに価値があると話されていました。そして、これらの事は、DVD編集ではじめに構成しております。

DVDの内容は、さきたま古墳群とは11基の大型古墳（稲荷山古墳、二子山古墳、丸墓山古墳、愛宕山古墳、瓦塚古墳、奥の山古墳、鉄砲山古墳、将軍山古墳、中の山古墳、浅間塚古墳、戸場口山古墳）で、その歴史的な紹介、その価値は、世界遺産とは何か、現在の取り組み、今後についてといろいろな角度から紹介しております。今回、広いさきたま古墳群を一望するために、利根スポーツクラブのご協力で、モーターパラグライダーを使い空からの撮影も活用致しました。昨年９月１日開催の社会奉仕セミナーにおいて、各クラブにDVDを配布済みです。是非ご覧頂きたいと思います。

昨年12月25日に、鈴木ガバナーと小川会頭と共に、再び上田埼玉県知事を訪問し完成したDVDの報告と贈呈をして参りました。この時知事は、只今ヒット中の映画「のぼうの城」で、埼玉を全国にアピールしていることにも触れられ、さきたま古墳の世界遺産登録推進のために、世界遺産登録推進のための具体的なご提案を頂きました。このことは、大変心強く、また一歩前進が感じられました。

今年度「さきたま古墳を世界遺産へ」の活動は、第2770地区とも連携をして、紹介DVDを活用しながら、埼玉県全体へ活動を広げております。更に歩を進めるために、会員皆様の更なるご協力をお願い致します。

制作：世界遺産サポーターの会
行田商工会議所

2月は世界理解月間です

国際奉仕部門委員長　**新島　修一**（深谷ノース）

なぜ２月が、ロータリー年度の中で「世界理解月間」になっているのかと言いますと、世界初のロータリー、つまりシカゴロータリーの誕生日が２月23日だからです。一番記念すべき誕生月に、ロータリーの最大特色である「世界の交流・世界に奉仕を」の月をあてている訳です。

ロータリーは誕生以来、最初から「世界の中で役立つことをしよう」と、国際交流と国際奉仕を活動の柱にしています。ロータリーのバッジに「インターナショナル」の文字が入っているのも、その表れです。世界の中で200ヵ国以上の国にロータリーがあり、世界中に、12万人以上の会員がいます。

もし、あなたが望めば世界中のロータリアンと友達付き合いが出来るようになり、世界の恵まれない子どもに手を差し伸べれば、子どもの手を握ることが出来ます。

今年度、私は国際奉仕部門委員長として、２つの目標を立てました。１つは、ロータリーの国際奉仕は自分たちにあまり縁のない、遠い世界の話だと思っているクラブの皆さんに、海外のクラブと交流を持つと、楽しい・面白いものだと言う事をお伝えすること。２つ目は、毎年各クラブから寄せられる国際奉仕の支援金を、出来るだけ他団体を通さないで、現地のロータリーを通じて行う、直接支援形式に切り替えていくことです。

2011年6月：タイ　飲料水ろ過装置

１つ目の海外に姉妹（双子）クラブを持ちましょうという呼びかけは、いくつかのポイントがあります。

- 姉妹クラブを選ぶ時、都会のクラブより田舎のクラブの方が良い。
- 長く付き合うには、どちらのクラブにもキーマンがいないと難しい。
- 交流の仕方は、ホテルスティよりホームスティのほうが「ハートの一体感」がより強くなる。
- １つのクラブだけよりも２つのクラブと付き合うと、国の違い・文化の違いの比較ができる。
- 英語は話せないより話せるほうが良い。
- ２～３年交流して、信頼感ができたら２クラブ共同プログラムの実施。１人が年１万円の支援金でできるプログラムを探す。
- 共同プログラムは３～４年満期で一区切りとすること。

昨年９月の国際奉仕セミナーの時配布しました、各クラブの姉妹クラブに対するアンケートの結果を、年度後半で各クラブにご報告をすると同時に、アドバイスもお送りする予定です。

2011 年 11 月：ネパールに建設した小学校と開校式

もう１つの、各クラブから寄せられる義援金を、海外のロータリーを通じて行う直接支援形式に切り替えることについてですが、今まで、当地区では国際奉仕義援金を「日本ユネスコ」から目に見える支援に切り替えようと「さいたまユネスコ」のネパールでの学校建設に変更いたしました。アフガニスタンでの地雷除去支援金も、地雷で被害を受けた子供たちへの支援に変更してまいりました。その支援活動を行う中で、各支援団体の事務所の訪問見学も行い、ミャンマーの大使館へも行ってまいりまして、地区義援金のより良い使い方について、何度も委員会の中で討議を重ねた結果、皆様より集めた浄財をできるだけ100％に近い状態で現地に届ける支援が望ましいとの結論に至りまして、信頼できる現地のロータリーを通じて行える支援に切り替えていく方向で、現在模索中です。

今、候補に挙がっているのは、

・ネパールでの寺子屋支援金を小学校建設から奨学金支援に切り替え。

・フィリピンでの寺子屋支援のスタート。

・タイの小学校での飲料水のろ過装置設置プログラム

の３つです。数年後には、地区委員会より皆様に、現地視察の呼びかけができるようにして、ガバナーを先頭に、委員会メンバーとそして希望者の方々と、楽しく現地視察をしたいと思っています。

2012 年７月：ミャンマー大使館　寺子屋支援金手渡し

2012 年 12 月：フィリピン　寺子屋支援金手渡し

■２地区合同ブライダル

次世代を担っていく若者たちへ

社会奉仕部門ブライダル担当副委員長
醍醐　治江（志木柳瀬川）

12月８日（土）、国際ロータリー第2570地区、第2770地区の、合同ブライダルパーティーが「浦和ロイヤルパインズ」にて開催されました。

2570・2770の２地区からは、鈴木秀憲ガバナー、田中徳尚ガバナーのお二人のご出席とご挨拶を頂き、会場には、ロータリアンが推薦する未婚の男女、約80名が集まりました。

パーティーはガバナーのご挨拶によって「賑やかで華やかな威厳のある素敵なパーティー」となりました。

ガバナーのご挨拶のあと着席し、パーティーへの参加者全員の、自己紹介が始まりました。４分ごとに次から次へと男性が移動し、座っている女性も、お互い自己紹介です。

ロータリクラブで開催する「ブライダルパーティー」は、とても安心なパーティーです。パーティーへの出席者は、ロータリアンの「子息、子女」そしてロータリアンが推薦する「知己の方々」です。

その後のフリータイムは、自己紹介で向き合って話した方の中で、「気になった方」、「話してみたい方」のところへ行ってみましょう―と。2770地区の栗原ブライダル委員長をはじめ、2570地区新井事業委員長、ブライダル委員の宮前さん、上原さん、芝さん、醍醐、それに両地区コーディネーター方々が、大活躍です。「良い組み合わせ」とか「ハッキリ物のいえない方」に、そっと応援したり。自分の娘や息子を見る目と同じ気配を感じるほどです。

フリータイムに、可愛い笑顔で話をしたり、逞しい青年が、カッコ良さをアピールしている様子をみなさんにも、お見せしたいくらいです。

「もう一度会って話をしたい人」を記入していただく「アンケート用紙」を用意致しました。そのアンケート用紙には、男性も・女性も、たくさんの相手の名前を書いて頂きました。

アンケート用紙の集計は、ブライダル委員、コーディネーターの見守る中、男性と女性、両方が一番に記入してある方同志の組み合わせを、みんなで探し“２地区合同ブライダルパーティー”を開催した結果、４組の「両思い」カップルが出来上がりました。片思いの方には、ブライダル委員とコーディネーターの方々が、もう一度会うかどうかを打診するため、直接・連絡させていただくことになります。

今年度、2570地区では、２組のカップルが現在進行中です。次世代を担っていく若者たちが、相応しい相手にめぐり合えますように！

■スリーデーマーチ

2012東松山日本スリーデーマーチをガバナーと！

東松山 RC 会報広報委員会委員長　**岩木　京子**

今年35周年を迎えた東松山市最大のイベント「日本スリーデーマーチ」が11月２日から三日間開催されました。東松山ロータリークラブは毎年ブースを設け当クラブ会員の中川正明先生のお力添えで看護師さんにもお手伝い頂き、会員・奥様よる血圧測定のサービスを提供しております。

当クラブの名誉会員の森田市長さんが35周年という事もあり「12万人の参加を目指しましょう！」という士気の下、米山会長と中里国際奉仕委員長が中心となり、多くのクラブさまへお声がけキャラバンして参りました。

鈴木秀憲ガバナーご夫妻を始め多くのロータリークラブからの参加の申し込みを頂き大変感謝しております。当日は鈴木ガバナーご夫妻と米山会長・中島丞司幹事・中川新世代委員長・越生毛呂ロータリークラブの４名様そして当クラブ会員数名と秋晴れの中、楽しく会話しながらウォーキングすることが出来ました。テントに戻りウォーキングした仲間と輪になりお弁当を食べながらのコミュニケーションも楽しみの一つかと思います。皆様お一人おひとりのご協力のお蔭で「日本スリーデーマーチ」参加人数12万人を突破する事が出来ました。感謝の気持ちでいっぱいです。

忙しい日常生活を一時忘れ、楽しい仲間と東松山を中心とした比企の大自然を体中に感じウォーキングを楽しんで頂ければと願っております。来年のご参加もお待ち致しております。

青少年交換帰国報告会

田口 うららさん（派遣国）台湾
（スポンサークラブ）川越RC

私は2011-12年度、台湾3480地区に派遣して頂いた、大妻嵐山高校の田口うららです。私が台湾に着いたのは南の島の真夏でした。想像していた以上に暑い気候でしたし何事もさっぱり分からず、最初の三ヵ月は手探りだらけの日々でした。勿論中国語も分かりません。まだ心が強くなかった私には辛い試練の日々でした。しかし後から考えれば、この三ヵ月があったおかげで、楽しく充実したその後の日々が過ごせたのだと思います。3480地区のロータリアンの方々は私を家族の様に、ホストファミリーは私を本当の娘の様に、又学校の先生や友達も暖かく迎えてくれました。勿論、台湾での生活の全てが幸せだったといえばそれは嘘です。辛いことは山ほどありましたが、その分楽しいことの方が勝ちました。この充実した十ヵ月間を与えてくださったロータリアンの方々には感謝の気持ちでいっぱいです。この経験をこれからの私の強みにして頑張りたいです。

①台湾に着いて初めての写真
②台湾に着いた次の日にホストファミリーと
③帰りの空港で、大好きな第二ホストマザーと
④中国語の発表会でトトロを歌い、受賞
⑤行事で法被を着ました
⑥日本へ帰る最後の写真

岡崎 彩音さん（派遣国）カナダ
（スポンサークラブ）富士見RC

2011年 から2012年 にかけてカナダのNL、セントジョンズEAST 2570地区に派遣されました岡崎彩音です。セントジョンズの天候は最も日照時間が少なく、最も霧が濃く、最も雪が多く、最も降水確率の高い街でした笑！天候として最も恵まれない街ですが写真の様に街はカラフルで街の人や、学校の友達、ホストファミリーにはとても恵まれました。

行った当初は言葉の壁にぶつかり友達もあまり出来ず、学校の授業も分からなくて大変な時期もありました。しかし私は学校以外にダンスをならっていたお陰で辛い時期を乗り越えられたと思います。好きな事を通して友達をつくったり語学を習得するのはとても素敵な事だと思います。

②

③

この一年は本当に充実していて心身共に成長する事が出来たと思います。

このような最高の一年が過ごせたのはROTARYの皆様のお陰です。

ありがとうございました。

⑤

①カラフルなセントジョンズの街
②セカンドホストママと
③３月に行われたミュージカル。ダンサーとして出演しそれを通してたくさんの仲間に出会えました
④ロータリーのクロスカナダツアー
⑤英語も分からないまま連れて行ってくれた先は展望台でした

新井 眉月さん（派遣国）フランス

（スポンサークラブ）深谷RC・深谷東RC・深谷ノースRC

クラスの友達と

私はフランスの1710地区のリヨンという街に派遣して頂きました。最初はフランス語が何もわからなかったので、留学するにあたっての一番大きな不安は言葉への不安でした。でも実際に向こうに着いてしまえば、ホストファミリーや学校の友達が助けてくれたので、少し焦りはあったものの特に大変な思いをすることなく、徐々に会話ができるまでにフランス語を習得することができました。

フランスといえば、食やお菓子です。最初の頃は食べても食べてもお腹一杯にはならず、いくらでも食べられました。自分の胃がブラックホールのようでした。なので、あっという間に太ってしまいました。お菓子屋さんやケーキ屋さんもかなりたくさんあったので、時々買って食べていました。日本よりも種類が豊富でいつも何を食べようか決めるのに時間がかかりました。存分にフランスの食を堪能することが出来ました。

この留学をするにあたり、ロータリアンの方、ROTEXの先輩、家族などたくさんの方の助けや協力があって私は無事に一年間フランスで生活することができました。一年間も素晴らしい体験をさせて頂き、本当にありがとうございました。

母と共にホストファミリーと

イースターの日に、ホストファミリーと一緒に庭でチョコを探し回りました⬇

この人にスポット！

50年連続100%出席へ！齋藤金作会員訪問記

入間 RC　**齋藤　金作** 会員

ガバナー公式訪問報告も前号で終わりました。今号では公式訪問の中で鈴木ガバナーが特に印象に残ったご高齢のロータリアンを紹介させていただきます。

—入間RC入会のキッカケは？

昭和34年の創立の頃から誘いはあったのですが、まだ若干30歳でまだ無理だと思っていました。その後、入会の誘いを受けているのを知った先代が「素晴らしい会だと聞いているよ。入れて貰いなさい」と言ってくれて昭和36年7月1日入会しました。

—そこから100%が始まった？

いや、入会当初、無理しなくていいよとの意味で「月４回の例会のうち３回出ればクビにならないから」と言われ、その通りにしていたら年度の終わりに、ほとんどの会員が100%出席で、アテンダンスバッジを頂いていました。頂けなかった私は意を決し、100%出席を続けています。ロータリー情報はもちろん情報は最初から正しい情報伝達が大切です。

—100%を長く続けるコツは？

まずは継続して仕事ができたこと。会社は先代が1923年トラック運送から始めて関東大震災を経て、タクシー、バス運送と業務拡大して、戦争での中断後、昭和28年の再開。景気の波等々アップダウンはありましたが安定的に仕事をすることができました。

あと入間RCの例会が厳粛の中にも和らぎがあることです。伝統と基本を重んじ、ベテランを大事にしてくれ、のどかな居心地のよい場所にしてくれています。

勿論、両親が健康体を与えてくれ、ケアもうまくいった点もあるでしょう。

斎藤さんの会社のデスク上の入間クラブの出席告知プレート

—長期の旅行の時はどうなさっているのですか？

旅行の前後に必ずメーキャップしています。

—もっとも思い出に残る例会は？

例会というより、繁田ガバナーの時に2年前に制度化されたばかりの地区幹事を務めた時期は思い出深いですね。千葉と埼玉をエリアとしていた地区が埼玉単独の地区になった年です。

—後輩たちへのアドバイスをお願いいたします。

2007−2008年度、ロータリーの友委員を務めていたとき、委員長の神崎正陳さん（茅ヶ崎湘南RC）からドイツのローテンブルグの城郭に掲げられていたプレートを見ましたか？と問われました。私は気がつきませんでしたが、そこにはラテン語で「訪ねくる者にやすらぎを　去り行く者に幸せを」と書かれています。そういう気持ちでロータリー活動したいと私も思いました。先日、NHKの朝ドラマで舞台となっているホテルのロビーの柱にも同文言のプレートが登場しましたね。

親睦と互恵を基礎に、奉仕の理想の精神は例会に出席することにより自然に身につきます。週に２時間はロータリーに使う習慣をつけてほしいと思います。

入間RCには創立以来2012年12月まで在籍し、2013年からは名誉会員となった102歳の杉山定太郎さんもいらしゃいます。

インタビュアー：副幹事　橋本　恭一

表　彰

ベネファクター

島崎　義春
（行田さくらRC）

中村　定弘
（熊谷籠原RC）

ポール・ハリス・フェロー

鈴木　貴大
（行田RC）

武笠　毅
（行田RC）

境野　登章
（行田RC）

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

鈴木　勲二
（和光RC）

鎌田　良昭
（和光RC）

矢澤　大和
（行田さくらRC）

山田　晃
（行田RC）

地区大会・記念ゴルフ大会のご案内

ゴルフ大会実行委員長　**馬橋　亟男**（吹上）

新春の候　会員に於かれましては輝かしい新年をお迎えの事と、心よりお慶び申し上げます。

さて、本年度も地区大会を記念致しまして親睦ゴルフ会を開催致します。日頃腕自慢の会員諸氏、一同に会し、春の一日グリーン談議に花を咲かせることも一興かと存じます。奮ってのご参加お待ち申し上げます。

当日はプレー終了後２階「ロータリー・友愛の広場」にて、各自スイーツセットor湯上りセット（生ビール）を用意致します。ごゆっくりご歓談下さい。

尚、アルコールはロータリアン各自の責任にてお願い致します。

日　　時	平成 25 年 3 月 28 日（木）
会　　場	熊谷ゴルフクラブ　（048-521-5411）
募 集 人 数	200 名　各クラブ4名以上お願い致します
参加登録費	6000 円（チャリティ基金 1000 円含む）　事前振込
	当日プレー費（約 13000 円）は各自払いでお願い致します
	（諸経費、昼食、湯上りセット込です）
競 技 方 法	18 ホール・ストロークプレー・・・新ペリア方式
	個人戦のみ行います。1～10 位　飛び賞　B.G（1～5 位）
	その他豪華賞品あり
申し込締切	平成 25 年 2 月 14 日（木）
表　彰　式	地区大会で行います

表　彰

米山功労者

13回
鈴木　勲二
（和光RC）

9回
湯本　茂作
（行田RC）

8回
高柳　育行
（本庄RC）

4回
大久保　毅
（行田RC）

4回
平岡　達也
（入間RC）

3回
柴﨑　正
（寄居RC）

3回
石井　彰
（和光RC）

2回
中島　捷二
（行田RC）

2回
古沢　勇治
（行田RC）

2回
山本　憲作
（行田RC）

2回
小泉　清久
（寄居RC）

2回
斎藤　栄作
（入間RC）

1回
坂本　優蔵
（本庄RC）

1回
浅香　匡
（本庄RC）

1回
小官　俊光
（寄居RC）

新入会員のご紹介

（熊谷RC）

飯田　武
熊谷商工信用組合
専務理事
（紹介者）吉田　嘉高、藤間　憲一

（富士見RC）

吉原　孝好
社会法人ふじみ野福祉会
理事長
（紹介者）大越武夫、横田栄作、竹内英明

（東松山むさしRC）

横川　賢司
㈱花恒
専務取締役
（紹介者）大澤　幸吉

2・3月のスケジュール

2月			
2	土	第５グループ IM	ホテルガーデンパレス
3	日	職奉：第２回部門セミナー	国立女性教育会館
7	木	PETS	所沢市民文化センター
9	土	第４グループ IM	埼玉グランドホテル深谷
10	日	第 47 回インターアクトクラブ次期指導者講習会	
11	月	R財団：第２回部門セミナー	国立女性教育会館
12	火	R財団ゾーンチーム研修	国立オリンピック記念青少年総合センター
16	土	R財団：2013～14 年度派遣奨学生候補第３回オリエンテーション	坂戸市オルモ
23	土	第２グループ IM	朝霞市民会館
3月			
2	土	第１グループ IM	東松山市市民活動センター
9	土	第３グループ IM	入間市産業文化センター

編集部から

ロータリー川柳

ロータリー　抜きでは語れぬ　わが半生
小澤　誠邦　（行田さくら）

ロータリアン　絆年々　強くなり
小澤　誠邦　（行田さくら）

出席率　お昼のメニューが　左右する
大河内　隆敏　（入間南）

今年こそ　休肝日にする　例会日
荻野　静次　（入間南）

喜寿間近か　息子に託す　我が生業
出川　敏雄　（入間南）

ならぬもの　ならない事が　ロータリー
大野　快三　（入間南）

お詫びと訂正:月信１月号にて、籠原RCの公式訪問の日程が11月31日となっていましたが、正しくは、10月31日の誤りでした。謹んでお詫びを申し上げ、訂正致します。

訃　報

奥平　長康 様
（小川RC）

2012年12月26日、ご逝去されました。謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

享年67歳
ロータリー歴
1996年11月入会（在籍16年）
会長、幹事、地区役員等

12月の出席率・会員数報告

	クラブ名	例会数	出席率(%) 当月	出席率(%) 通算	会員数(人) 年初(7/1)	会員数(人) 12月末現在	12月入会数	12月退会者	本年度入会数	本年度退会者	12月度純増数	本年度純増数	女性会員
第1グループ（11RC）	川越	3	84.9	81.8	86	86	0	1	3	3	-1	0	0
	東松山	3	87.2	80.8	33	33	0	0	1	1	0	0	1
	小川	3	66.7	67.9	12	12	0	0	0	0	0	0	1
	坂戸	3	92.5	91.5	25	24	0	1	0	1	-1	-1	0
	越生毛呂	4	86.4	80.7	26	26	0	0	0	0	0	0	3
	川越小江戸	3	91.4	92.3	14	14	0	0	0	0	0	0	0
	川越西	3	88.6	84.2	15	14	0	1	0	1	-1	-1	0
	鶴ヶ島	3	89.0	84.1	26	27	0	0	2	1	0	1	2
	川越中央	3	90.6	87.7	31	34	0	0	3	0	0	3	0
	坂戸さつき	3	65.0	71.1	20	20	0	0	0	0	0	0	4
	東松山むさし	3	80.0	86.2	36	37	0	0	1	0	0	1	4
	小計		83.8	82.6	324	327	0	3	10	7	-3	3	15
第2グループ（8RC）	朝霞	3	92.4	93.5	33	33	0	0	0	0	0	0	0
	志木	3	92.7	93.2	49	50	0	2	3	2	-2	1	0
	富士見	3	86.3	89.0	49	49	0	0	1	1	0	0	0
	新座	4	90.2	89.6	26	26	0	0	0	0	0	0	2
	和光	3	85.9	84.9	20	19	0	0	0	1	0	-1	2
	朝霞キャロット	3	94.9	91.0	13	13	0	0	1	1	0	0	0
	志木柳瀬川	3	92.3	91.9	12	13	0	0	1	0	0	1	4
	新座こぶし	3	86.7	84.4	15	14	0	1	0	1	-1	-1	2
	小計		90.2	89.7	217	217	0	3	6	6	-3	0	10
第3グループ（12RC）	入間	4	82.9	84.7	39	38	0	2	1	2	-2	-1	1
	所沢	4	84.0	84.7	59	60	0	0	2	1	0	1	4
	飯能	3	91.1	91.5	54	54	0	0	0	0	0	0	0
	狭山	3	100.0	100.0	17	17	0	0	0	0	0	0	0
	新所沢	3	85.3	86.0	19	19	0	0	0	0	0	0	1
	日高	3	86.0	81.7	25	25	0	0	1	1	0	0	3
	所沢西	3	88.6	86.5	38	38	0	0	0	0	0	0	1
	新狭山	3	90.3	90.9	23	23	0	0	0	0	0	0	0
	所沢東	3	86.1	84.6	37	38	0	0	2	1	0	1	3
	入間南	3	98.8	96.5	39	39	0	0	1	1	0	0	0
	所沢中央	3	97.5	94.3	37	38	0	0	2	1	0	1	0
	狭山中央	4	89.8	89.7	29	30	0	0	1	0	0	1	4
	小計		90.0	89.3	416	419	0	2	10	7	-2	3	17
第4グループ（11RC）	深谷	4	87.3	81.9	57	59	0	0	2	0	0	2	9
	本庄	3	74.9	81.7	73	73	0	0	0	0	0	0	7
	秩父	3	85.9	82.4	50	51	0	0	1	0	0	1	0
	寄居	3	81.6	78.5	38	37	0	1	0	1	-1	-1	0
	児玉	3	58.3	63.5	9	12	0	0	3	0	0	3	0
	岡部	3	86.0	83.0	18	18	0	0	0	0	0	0	2
	深谷東	3	70.1	71.3	71	74	0	0	3	0	0	3	0
	川本	4	91.0	89.8	11	11	0	0	0	0	0	0	0
	皆野・長瀞	3	88.9	87.4	12	13	0	0	1	0	0	1	1
	本庄南	3	86.0	84.3	20	20	0	0	0	0	0	0	0
	深谷ノース	3	86.1	80.0	33	35	0	1	3	1	-1	2	0
	小計		81.5	80.4	392	403	0	2	13	2	-2	11	19
第5グループ（10RC）	熊谷	3	88.9	77.4	89	93	0	0	4	0	0	4	3
	行田	3	75.6	76.3	55	55	0	1	1	1	-1	0	4
	羽生	4	86.0	77.4	42	42	0	0	1	1	0	0	4
	加須	3	81.5	82.6	37	35	0	1	0	2	-1	-2	1
	熊谷西	3	69.1	70.2	13	12	0	0	0	1	0	-1	0
	行田さくら	3	84.4	77.9	42	43	0	0	1	0	0	1	0
	熊谷東	3	93.9	91.9	31	32	0	1	2	1	-1	1	2
	吹上	4	91.6	92.5	12	12	0	0	0	0	0	0	0
	熊谷籠原	3	92.6	91.0	27	27	0	0	0	0	0	0	0
	熊谷南	4	58.7	60.6	25	26	0	0	1	0	0	1	1
	小計		82.2	79.8	373	377	0	3	10	6	-3	4	15
52RC	クラブ会員数		85.4	84.2	1722	1743	0	13	49	28	-13	21	
	女性会員数				74	76	0	1	5	3	-1	2	

不動ヶ岡不動尊 總願寺

節分会

不動ヶ岡不動尊總願寺は不動明王を御本尊とする真言宗智山派に属する寺院です。

總願寺では、数々の行事が行われますが、中でも2月立春の前日に行われる節分会大護摩供鬼追い豆まき式は、赤鬼、青鬼、黒鬼が登場する全国でも大変珍しい勇壮な行事です。赤鬼は長さ3m、重さ25kgの大松明を持ち、青鬼は剣、黒鬼はこん棒を持ってご本堂の回廊を駆け回ります。節分会当日は、12時・16時・20時30分と3回の大護摩供鬼追い豆まき式が行われます。この行事は立春の前日に総ての災厄を払い新しい春を迎えられるように行う行事ですので、先ず御本尊不動明王の御宝前で檀信徒の皆様方の開運厄除、家内安全・商売繁昌等を祈って大護摩供が厳修されます。その後半鐘の音を合図に3匹の鬼が登場し年男の皆様方による豆まき式が行われます。

さて、節分会に登場する三匹の鬼にはそれぞれ意味があります。皆さんも煩悩という言葉を御存じだと思いますが、煩悩は百八あると言います。しかし、その本になるのは根本三大煩悩と言って3つに集約されます。それは、貪(欲深い心)、瞋(怒りの心)、癡(道理が解らない愚かな心)です。そしてこれらを当山の三匹の鬼が現しています。即ち、赤鬼が怒りの心を、青鬼が欲深い心を、そして黒鬼が愚かな心を現しているのです。そして、これら煩悩に心が支配されると誰でも鬼の姿になってしまいます。

節分の日は自らの災厄を落とすと同時に鬼の姿を見て自分も鬼の姿にならないように深く心を清める意味もあるのです。又、赤鬼が持つ松明の火は大護摩供の火を頂いたものですので、この火の粉を浴びると災厄が払われ御本尊不動明王の御利益を頂く事が出来ます。鬼達は、御本尊不動明王の御利益をふるまい、豆を投げつけられる敵役となって自らの心を清めているのです。毎年節分会には加須市長さんや国会議員を初め、多くの著名人や力士、芸能人が年男として参加されます。本年は、横綱白鵬関、大関琴欧洲関、俳優の松方弘樹さん、コニシキさん等が年男として参加予定です。是非皆様方も年男としてご参加下さいますようご案内申し上げます。

表紙写真:副幹事・斎藤　恒(行田さくら)

文と写真:總願寺住職・山口　眞司(加須)

ガバナー月信　第8号

2013年2月1日発行

今月の表紙:

国際奉仕部門 委員長	国際奉仕部門 クラブ支援委員長	国際奉仕部門 地区事業副委員長
新島　修一	岡本　正巳	細川　末廣

2012−2013年度ガバナー　鈴木　秀憲

国際ロータリー第2570地区　地区事務所

〒355-0028　埼玉県東松山市箭弓町2丁目5番14号　紫雲閣3F

TEL (0493)21−2570　E-mail＝d-office@mail.rid2570.gr.jp

FAX (0493)21−2571　Website＝http://www.rid2570.gr.jp/2012/